

公立大学法人名古屋市立大学
第三期中期目標期間の業務実績に関する見込評価結果
(様式案)

令和 年 月

名古屋市公立大学法人評価委員会

<目次>

中期目標期間見込評価の方法について	
評価結果の記述について	
1 全体評価	
2 項目別評価	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する項目	
第1 教育に関する項目	
第2 研究に関する項目	
第3 社会貢献に関する項目	
第4 国際化に関する項目	
第5 附属病院に関する項目	
II 業務運営の改善及び効率化に関する項目	
III 財務内容の改善に関する項目	
IV 自己点検・評価、情報の提供等に関する項目	
V その他の業務運営に関する項目	
3 各年度における評価結果の状況	
4 参考資料	

《中期目標期間見込評価の方法について》

公立大学法人名古屋市立大学の第三期中期目標期間（平成 30 年度～令和 5 年度）の業務実績に関する評価については、平成 19 年 1 月 30 日に策定した「公立大学法人名古屋市立大学の業務実績に関する評価指針」（令和元年 6 月 10 日一部改正）及び令和〇年〇月〇日に策定した「公立大学法人名古屋市立大学の中期目標期間見込評価実施要領」に基づき、以下のとおり評価を行った。

- ① 中期目標期間見込評価は、「全体評価」と「項目別評価」により行った。
- ② 「全体評価」は、次に掲げる「項目別評価」の結果を踏まえ、中期目標の達成見込みについて記述式により評価を行った。
- ③ 「項目別評価」は、中期計画の大項目ごとに大学法人の自己評価を踏まえ、未達成見込項目等がある場合は、その重要性、計画の実施状況等を勘案した上で総合的に評価し、S～Dの5段階で評価を行った。

なお、大項目の区分及び項目別評価の基準については、以下のとおりである。

（大項目の区分）

大 項 目 名	
I 質の向上に関する項目 大学の教育研究等の	第1 教育に関する項目
	第2 研究に関する項目
	第3 社会貢献に関する項目
	第4 国際化に関する項目
	第5 附属病院に関する項目
II 業務運営の改善及び効率化に関する項目	
III 財務内容の改善に関する項目	
IV 自己点検・評価、情報の提供等に関する項目	
V その他の業務運営に関する項目	

(小項目評価の基準)

Ⅳ：中期計画を上回って達成する見込みである
Ⅲ：中期計画を十分に達成する見込みである
Ⅱ：中期計画を十分には達成しない見込みである
Ⅰ：中期計画を達成しない見込みである

(項目別評価の基準)

評価	内 容	基 準
S	中期目標を上回って達成する見込みである	・特筆すべき成果を挙げている ・中期計画の小項目及び数値目標をすべて達成見込みである
A	中期目標を達成する見込みである	・中期計画の小項目及び数値目標をすべて達成見込みである
B	中期目標をおおむね達成する見込みである	・中期計画の小項目及び数値目標を9割以上達成見込みである
C	中期目標の達成が不十分の見込みである	・中期計画の小項目及び数値目標の達成見込みが9割未満である
D	中期目標を達成しない見込みである	・中期計画の小項目及び数値目標をほとんど達成できない見込みである

- (注) 1 達成見込状況の割合は、小項目、数値目標の項目数を足し合わせて計算する。
2 原則として基準に則り評価を行うが、未達成見込項目等の重要性、計画の実施状況等を勘案した上で、総合的に評価する。

《評価結果の記述について》

評価結果の記述は、基本的に以下の考え方に基づいて行った。

（１）全体評価

【評価結果と判断理由】

業務実績全体を通じての評価結果と判断理由を記述する。

【全体的な実施状況】

①特筆すべき取り組み

特筆すべき取り組みについて、客観的な達成状況等を記述する。

②中期目標の達成に向けた課題と今後の対応

中期目標の達成に向けた課題がある事項について、客観的な達成状況及び今後の対応を記述する。

【全体評価にあたっての意見、指摘事項】

業務実績全体を通じての見込評価を行うにあたり、評価委員会から出された意見や指摘事項について記述する。「実施状況」と重複して記述する項目もあるが、本欄により、大学法人の業務実績において評価委員会として積極的に評価する点、改善すべき点等を明らかにする。

(2) 項目別評価

【評価結果】

項目別評価の基準に基づき S～D で評価を行う。

【業務実績見込報告書の自己評価と評価委員会の評価が異なる理由】

大学法人による業務実績見込報告書の自己評価と評価委員会の評価が異なる場合は、評価委員会が異なる評価をした理由を記述する。

【実施状況】

①特筆すべき取り組み

特筆すべき取り組みについて、客観的な達成状況等を記述する。

②数値目標の状況

中期計画に掲げた数値目標の達成状況を示す。

③未実施又は遅延している事項

未実施又は遅れているものについて、客観的な達成状況及び遅れていると判断した理由を記述する。

【評価にあたっての意見、指摘事項】

項目別見込評価を行うにあたり、評価委員会から出された意見や指摘事項について記述する。
「実施状況」と重複して記述する項目もあるが、本欄により、大学法人の業務実績において評価委員会として積極的に評価する点、改善すべき点等を明らかにする。

1 全体評価

【評価結果と判断理由】

【全体的な実施状況】

- ① 特筆すべき取り組み
- ② 目標に対して不十分な取り組みと今後の対応

【全体評価にあたっての意見、指摘事項】

2 項目別評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する項目

第1 教育に関する項目

【評価結果】

評価 結果	自己 評価	年度評価結果				
		平成 30	令和元	令和2	令和3	令和4
■	△					

【業務実績報告書の自己評価と評価委員会の評価が異なる理由】

【実施状況】

① 特筆すべき取り組み

・

② 数値目標の状況

・

③ 未実施又は遅延している事項

・

【評価にあたっての意見、指摘事項】

・

I 第3 社会貢献に関する項目

【評価結果】

評価 結果	自己 評価	年度評価結果					
		平成 30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
■	■						

【実施状況】

① 特筆すべき取り組み

・

② 数値目標の状況

・

③ 未実施又は遅延している事項

・

【評価にあたっての意見、指摘事項】

・

3 各年度における項目別評価結果の状況

年 度 大項目名	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
教育	計画どおり 実施	おおむね 計画どおり 実施				
研究	計画どおり実施					
社会貢献	A	B				
国際化	A	A				
附属病院	A	B				
業務運営の改善及び効率化	A	A				
財務内容の改善	A	A				
自己点検・評価、情報の 提供等	A	S				
その他の業務運営	B	A				

※ 教育・研究については、地方独立行政法人法第69条の規定により、その特性に留意し、小項目評価及び大項目評価は行わず、事業の進捗状況を客観的外形的に確認する。

4 参考資料

【委員名簿】（50音順）

氏 名	役 職 等
内田 淳正	三重大学 学長顧問
小笠原 剛	（株）三菱UFJ銀行 常任顧問
木村 彰吾 ☆	国立大学法人東海国立大学機構 機構長補佐 名古屋大学 副総長
近藤 桃子	公認会計士
南部 初世	名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授

☆ 委員長

【第三期中期目標期間の業務実績見込に関する評価結果に係る評価委員会開催結果 （令和4年度）】

- ・第1回 ○月○日開催
- ・第2回 ○月○日開催
- ・第3回 ○月○日開催
- ・第4回 ○月○日開催